

栄東地区 学校配置検討委員会ニュース

2023年7月20日 発行

栄東地区では、栄東小学校と栄緑小学校の小規模化による課題の解決等のため、令和5年2月より『学校配置検討委員会』を設置し、検討を進めています。

検討委員会の配布資料等については札幌市教育委員会のウェブページに掲載しています。
<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/sakaehigashi.html>



※ 第1回目の検討委員会の後、第2回検討委員会開催までの間に地域から意見が寄せられており、第2回の資料として検討委員会内で共有（内容確認）しています。

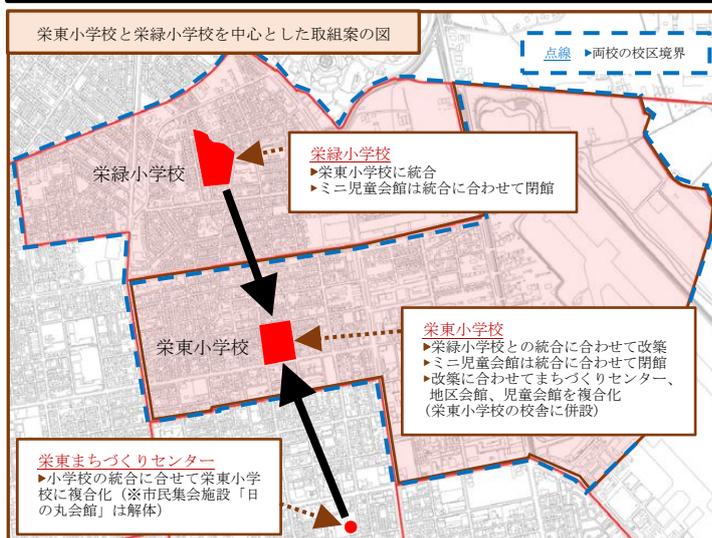
札幌市と教育委員会は、「学校配置検討委員会」（以下「検討委員会」といいます。）で協議を進めるためのたたき台となる「取組案」を作成し、第1回検討委員会（令和5年2月21日開催）において提示しました。

検討委員会では、引き続き、この「取組案」のとおり、学校規模の適正化を図るとした場合に考えられる課題などについて、協議、検討していくこととしています。

このたび、令和5年6月6日に第2回検討委員会を開催いたしました。検討状況につきまして、地域の皆様へお知らせします。

ぜひ多くのご意見をお寄せください。

「取組案」は1つの案であり決定事項ではありません



1. 第2回検討委員会について

第2回の検討委員会では、「小規模校における課題」について、検討委員会における共通の認識を得るための協議（意見交換）と、第1回で委員から意見が出された「通学距離と通学安全」に関して、「取組案」のとおり、学校規模適正化を図るとした場合に考えられる課題などについて協議（意見交換）を行いました。委員からの意見や質問などについて、以下、概要を掲載しています。

※ 類似の発言内容をまとめるなど文言を整理して掲載しています。

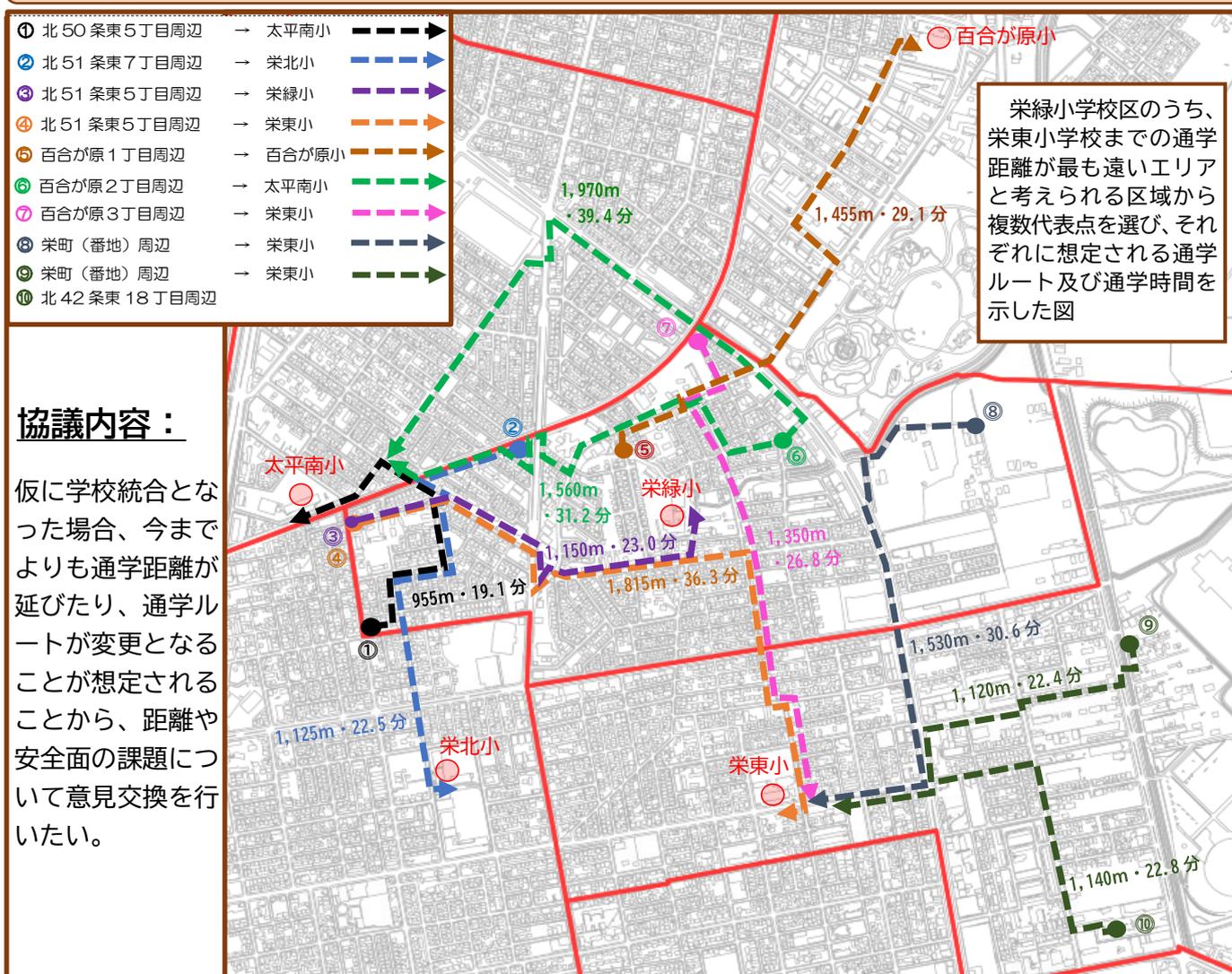
「●」…委員からの意見 「○」…質問 「⇒」…代表委員、札幌市・教育委員会からの説明、回答

2. 小規模化する小学校で生じる課題の整理について

- 教員は学習指導要領に基づいて教育を行っており、現在の学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学びを実現すること」が示されている。大規模校と小規模校のどちらにも良さがあると考えているが、対話的な学びという観点から見ると、ある程度の学校規模があった方が、様々な考え方に触れあうことができるというメリットがあると考えられる。
- 学年に複数人の教員がいる学校では、教員が連携して、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくりやすいというメリットがあると考えられる。

- 小規模校では、子どもたちの顔を覚えやすく、児童一人一人の個性を理解し、風通し良く関わることができる一方で、人数規模が大きくなる中学校に進学した時のことを考えると、中1ギャップに対応できるかという懸念がある。
- 小規模校については、地域・保護者・学校のそれぞれの立場において、メリット・デメリットがある。
- 少子化が進んでいる時代だが、学校の統合を進めるのではなく、施設の基準や学校規模の基準を時代や地域に合わせて見直すことも必要ではないかと思う。
- 地域と学校で開催する行事は土日開催となることが多いため、教員数が少ない小規模校には手伝い等を頼みにくい。
- 今の時代は小規模校が統合される流れであり、その流れに逆らうことは難しい。統合するとしても現状からいかに良い方向に導いていけるかが、地域の課題と考える。
- 将来を担う子どもたちが通いたいと思えるような学校づくりが行われることを望む。
- 第1回の配布資料に掲載されていたが、これまでもPTAや地域から様々な意見が寄せられている。今後も小規模化による課題に関して議論を行う場面は出てくると考えている。

3. 栄緑小学校区から栄東小学校までの通学距離と通学安全について



※上記と同じ資料は札幌市ウェブページに掲載しております。

- 東 15 丁目通で接触事故が起きているので、通学安全に不安がある。また、栄東小学校付近では、保護者や放課後の児童デイサービス等の送迎車が多く、週末になると路上駐車で混み合う。学校統合となった場合、学校付近への路上駐車がさらに多くなる懸念がある。
- 学校敷地周辺に多くの車が止まるという問題は、栄東小に限った話ではなく、学校統合があってもなくても変わらないと思う。路上“駐車”ではなくて、“停車”という考えがあるため一律に禁止できず、他に効果的な対策は無いように思われる。
- 栄東小学校と栄緑小学校の交通安全について、除雪後の歩道がかなり狭いと感じている。
- 学校統合となると、現在の通学区域よりも広い範囲から子どもが通うことになるので、安全面については最重要課題であると考えている。
- 現状の両校周辺の除雪状況はあまりよくないという意見があったが、統合されたからといって改善されるものではないように思える。
- 冬は道が狭くなるし、夏場は猛暑の中、重い荷物を持ちながら通学する状況はとても大変に思える。スクールバスの導入を考える必要があるのではないか。

⇒（教育委員会学校配置マネジメント担当課）

第 1 回の検討委員会でご説明したとおり、札幌市では通学方法を原則徒歩としており、児童の徒歩による通学距離の範囲は 2 km 以内としております。

『取組案』のとおり学校統合をした場合の統合校の通学区域（現在の 2 校の通学区域を併せたものと想定）では、全ての児童が 2 km 以内からの通学となります。

○栄緑小学校が栄東小学校と統合したとして、栄緑小学校区から近い別の小学校を選択することは可能なのか。

⇒（菊地代表委員）

資料 1 で確認したとおり、地域・保護者の意見として、通学区域の一部見直しを求める内容の意見が数多く寄せられている。次回以降の検討委員会の中で、通学区域の見直しを検討する必要性をと感じている。

その上で、再度、通学距離等について議論する必要がある。

協議結果：

- ・次回以降の検討委員会において、通学区域の見直しに関する協議を行う。
（・通学区域に関する協議を踏まえ、引き続き通学距離に関する協議を行う。）

次回の検討委員会について

- ▶ 会議名 第3回 栄東地区 学校配置検討委員会
- ▶ 開催日時 2023年(令和5年)9月12日火曜日 16時00分から
- ▶ 開催場所 栄新和町内会館(東区北48条東10丁目3番8号)

※ 検討委員のみが参加する会議のため、一般の方は入場できません。内容は後日ニュースレターやウェブページでお知らせいたします。また、日程は都合により変更となる場合があります。

次回(第3回)検討委員会の議題(予定)

- ▶ 第2回検討委員会の振り返り
- ▶ 地域や保護者の皆様から寄せられたご意見等の紹介
- ▶ 栄緑小学校と栄東小学校が統合となった場合の通学区域案の検討
- ▶ その他、当日協議を行う必要があるもの

ご意見、ご質問は、下記事務局までお寄せください。

栄東地区 学校配置検討委員会事務局

- ▶ 札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課(学校配置マネジメント担当)
- ▶ 電話: 011-211-3836 FAX: 011-211-3837
- ▶ e-mail: gakkohaichi@city.sapporo.jp

検討委員会の開催概要は札幌市教育委員会のウェブページにも掲載しています。

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/sakaehigashi.html>

学校規模適正化 栄東

検索



さっぽろ市
02-S01-23-1301
R5-2-904
SAPPORO